

開催日時	令和元年 5 月 14 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	会 長 白井 勇 担当副会長 小澤勝美 委 員 長 谷田康司 副 委 員 長 梅原義信 矢後孝昭 委 員 坂本昌己(欠) 柏木健司 平野武洋 森安啓司 新倉良一 神田 暁(欠) 寺本 勉 長谷川匡 事 務 局 野口友弘 久保田千尋		

- 会長挨拶 ○小澤担当副会長 挨拶 ○谷田委員長 挨拶
- 矢後副委員長 議事・進行

1. 報告事項

- ・『建築士事務所の実務』を国会図書館に寄贈した。

(1) 地引網大会 (4/27) 実施報告

- ・当日の参加者：大人 150 名、小人 47 名 計 197 名
- ・次年度の実施については新委員にて検討頂く。(次年度地引網：2 月予約開始→6 月実施)
(意見)
- ・テーブルとイスを用意出来ないか、という要望有。 ⇒ 費用がかかるため、見送り。
参加費の単価を上げれば可能。

(2) 新規開設「建築士事務所」講習会について

1) テキストの改訂について

- ・県よりスケジュールの確認があり、共有するとともに § 1 の改訂作業を改めて依頼した。(報告)
- ・大幅な変更は行わず、内容の精査と告示 98 号の追加を行う。
(意見)
- ・『机の隅に』素案がある程度出来てからテキスト改訂に取り組んだほうが良いのでは。
⇒ 7 月中旬から改訂作業なので、タイトなスケジュール。

2) 講習会の運営見直しについて

- ・講習会受講費が、テキスト代と同程度の金額：2000 円税別となった。(受講者・入会者減防止)
(意見)
- ・講習料当日支払いは、ドタキャンの可能性もある。講習会には支部長も呼ぶので、賛成しかねる。

(3) トライアルメンバー制度について

(意見)

- ・支部会議等、支部負担のある支部が受容するのか。
- ・新規開設の事務所入会には効果があると思うが、既存の事務所に効果があるか疑問。
- ・支部活動を見た上で入会となるので、活動をかなり頑張らないと効果がないのでは。
- ・具体的な数値を掲げないと増えないのでは。
- ・トライアル会員のままだいい、正会員よりトライアル会員になりたい、という人が増えるのでは。
- ・トライアル会員となったのち、委員会 1 回参加必須等条件を付ける等、トライアル会員→正会員へのスキームを入れるべき。
- ・委員会参加の際のフォローをどうするか、支部長または事務局が勧誘するのか、等、会として方向性を決める必要があるのでは。
- ・統括委員長、支部長等、関係者複数で体制を整えるべき。
- ・神事協の良いところと胸をはって言えるものがあると尚良い。
- ・参加イベント等を、プログラムを組んで参加してもらうのはどうか。

- (4) 秋のスポーツ大会の開催について
- ・ボウリングを9月頃の実施にて検討中。
- (5) 次期委員会への申し送り事項について
- ・内容精査のうえ、メールする。
- (6) 専門委員会からの活動報告
(景観・まちづくり専門委員会)
- ・6月8日(土)まちあるき実施
 - ・景観整備機構の報告書準備
 - ・安全協会の景観調査終了
 - ・相模原市バスツアーへの協力
 - ・今年度は建物調査、まちなみウォッチングを計画。アーカイブ実施予定。
(青年交流専門委員会)
 - ・5月18日前川國男邸視察
 - ・のぼり旗はプラマイゼロ収支実現
 - ・職業体験により建築士の活動を理解してもらい、地位向上を目指す。
 - ・他会の青年会への参加
 - ・5月29日委員会開催予定
- (7) 今後の行事日程について
- ・資料に基づき、2019年度における神事協の行事日程を確認。
 - ・定期講習講師の決定…5/31 小澤副会長、6/27 谷田委員長、2/20 矢後副委員長、3/16 梅原副委員長
- (8) その他
次回の委員会開催について
第3回ブロック支部委員会 7月中旬頃 谷田委員長委任

以上

開催日時	令和元年 7 月 30 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇 石原貴司 新倉良一 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋 オブザーバー 神奈川県建築安全課 主査 大井 康介氏		

- 小林担当副会長 挨拶 ○谷田委員長 挨拶 ○委員自己紹介 *寺本委員、新倉委員へ委嘱状
- 平野副委員長 議事・進行

1. 報告事項

- ・前期委員会からの申し送り事項について報告された。

2. 議 題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

1) テキストの改訂について

- ・谷田委員長より これまでのテキスト改訂についてと今後の予定の説明。
 本編：§ 2 以外の部分は、指導委員会作成中の「机の隅に」改訂版より必要部分を抽出し作成する。
 資料編：ブロック支部委員会が改訂する。
- ・8 月 改訂箇所検討、8 月～11 月 修正作業、12 月～1 月 建築安全課監修、1 月 校了
 2 月 統括委員長会上程 承認後製本、3 月 理事会報告
- ・次回委員会までに本編、資料編の担当を決定。委員長、副委員長で案を作成後、希望をつのる。
 まとめ役：副委員長 メンバー：前年度からの委員をふりわけたのち、新委員をふりわける
- ・神奈川県 大井氏より 12 月の作業がメインとなるが、必要な機に参加し、都度意見を伝える。

2) 講習会について

- ・今年度の講習開催日の決定：11 月 19 日 (火)、2 月 18 日 (火) 講師は次回委員会にて決定予定
- ・8 月 27 日 (火) 講習会担当の決定
 司会：谷田委員長 開会挨拶：小林副会長 § 2：谷田委員長 § 3：矢後委員 閉会挨拶：平野副委員長
 (§ 1：神奈川県 伊藤氏、§ 4：指導委員会 齋藤副委員長)
- ・講習会への申込方法については今後の検討課題。

(2) 神事協スポーツ大会の開催について

1) 9 月 27 日 (金) 開催 ボウリング大会について

- ・新倉委員より 概要について説明
 ⇒次回委員会時に詳細資料(趣旨、企画案、予算、タイムスケジュール等)を用意の上、プレゼンする。

(現在の検討事項)

- ・順位は出すが、賞は出さない。
- ・お土産の配布について検討中。
- ・挨拶は、中ブロックと本会にて行う。

(3) 次年度以降の会員レクリエーションについて

- ・地引網の開催：6 月を予定。2 月より予約開始。
- ・次回以降は他企画も検討。

(4) トライアルメンバー制度について

- ・メインターゲットは新規の会員。入会促進ツールとして使えるのでは。
- ・委員会活動、支部活動参加により実効性のあるものとなるのではないか。

(5) 今後の行事日程について

- ・今後の行事日程の確認を行った。
- ・11月頃、支部長合同委員会を開催したい旨、会長より要望有。

(6) その他

1) 日事連・建築士事務所賠償責任保険について

- ・小林副会長より 加入促進のお願い。少人数でも保険会社より説明可能とのこと。

2) 平塚支部しごと展 8月3日(土)、8月4日(日)開催

3) 定期講習講師のお願い

- ・2年間で計2回行う。

4) 神奈川県内の会員数及び事務所登録数(参考資料)

5) 賛助会フェア案内

- ・次回日程 8月23日(金) 15:30~17:00 神事協会議室にて

以上

開催日時	令和元年 8 月 23 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋(欠) 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇(欠) 石原貴司 新倉良一 矢後孝昭(欠) 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長 挨拶 ○谷田委員長 挨拶
- 高澤副委員長 議事・進行

1. 議 題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

1) テキストの改訂について

- ・本編：§ 2 を主に改訂。§ 1、§ 3、§ 4 は指導委員会作成中の改訂版「机の隅に」から抽出し編集する。
- ・資料編：主に新しい統計に入れ替える。
告示 98 号 県への通知、P 1-4。古いもの（H10 改正など）を削除か検討。
- ・基本方針の確認：大改訂ではなく、現テキストの項目に沿った改訂とする。詳細の変更部分を検討。

・検討グループ

○A グループ → テキスト本編を担当する

まとめ役：*平野副委員長

メンバー：*坂本委員 *寺本委員 岩田委員 石原委員 吉田委員

○B グループ → テキスト資料編を担当する

まとめ役：高澤副委員長

メンバー：*矢後委員 *新倉委員 渡部委員 *谷田委員長 小林担当副会長

→取り纏め役の副委員長よりグループメンバーへ連絡し、グループメンバーは副委員長へ改訂部分を連絡する。
副委員長より事務局へ連絡し、事務局にて全体を取りまとめる。
(誤字脱字は全員チェック)

2) 新規開設講習会について

- ・8/27 の確認
- ・11/19,2/18 講師の決定 → 未決定部分は、9/27 に決定予定
- ・11/19 司会 高澤副委員長 開会挨拶 谷田委員長 § 1 建築安全課へ依頼 § 2 谷田委員長 § 3 (確認中) ※委員会後、平野副委員長に決定 § 4 指導委員会に依頼 閉会挨拶 (確認中)
- ・2/18 次回以降決定予定

(2) 神事協スポーツ大会 (9/27ボウリング大会) の開催について

・タイムスケジュール

事務局・谷田委員長集合	16 : 45
受付開始	17 : 00
参加者集合	17 : 30
開会式	17 : 35
スタート	18 : 00
閉会式	20 : 20
懇親会	20 : 30
終了	21 : 40

・ブロック支部委員会 当日の担当割

<開会式 17:35より> 会場にて

- ・司会進行 中ブロック
 - ・開会挨拶 谷田委員長
 - ・会長挨拶 白井会長
 - ・ブロック長挨拶 中ブロック長
 - ・実行委員会挨拶 新倉実行委員長 (ルール、諸注意等説明)
 - ・準備体操 中ブロック
 - ・選手宣誓 矢後委員
- (・始球式…練習ボールの有無を新倉委員より会場へ確認後、決定)

<閉会式 20:20より>

- ・司会進行 中ブロック (黒部氏)
- ・講評 白井会長
- ・懇親会案内 司会が担当
- ・閉会挨拶 司会が担当

<懇親会 20:30より>

- ・司会進行 中ブロック 黒部氏
- ・開会挨拶 中ブロック 秦野支部長または伊勢原支部長
- ・乾杯 副会長へ依頼
- ・中締め 小林副会長

<救護・安全管理>

・中ブロック1名 ・事務局 久保田

- ・駅から会場までの道案内は、なし。
- ・懇親会費徴収および領収書発行は、ブロックで対応。ブロック毎にまとめて支払いをお願いする。
- ・写真係を当日参加の広報情報委員へ依頼する。
- ・スコア集計は、紙で出てくるので、ブロック毎にまとめて代表者へ渡す。
- ・お土産は懇親会費より購入し、懇親会参加者のみにお渡しする。

(3) トライアルメンバー制度について

- ・意見があれば、事務局へ連絡する。

(4) 今後の行事日程について

- ・確認を行った。

(5) その他

次回以降の委員会日程

- ・9月27日(金) 14:00~16:00 伊勢原駅付近(予定) 新倉委員会場確保
- ・10月25日(金) 15:00~17:00 神事協会議室
- ・11月 支部長合同ブロック支部委員会
会場、懇親会場：湘南ブロック 11月25日(月)、27日(水)頃 30~40名
13:30~15:00 委員会 15:10~17:00 支部長合同ブロック支部委員会
…石原委員 会場確保次第事務局へ連絡

以上

開催日時	令和元年 9 月 27 日 (金)	会 場	イセハラシティープラザ (伊勢原商工会館) 会議室
------	-------------------	-----	---------------------------

出席者	担当副会長	小林幸一
	委員長	谷田康司
	副委員長	平野武洋 高澤 智
	委員	坂本昌己(欠) 寺本 勉(欠) 岩田 崇 石原貴司
	事務局	新倉良一 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行

- 谷田委員長 挨拶
- 平野副委員長 議事・進行

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- 1) テキストの改訂について
- ・11月末 原稿完了、12月 県チェックのスケジュールにて進めていく。
- ・A,B グループ相互協力体制にて進める。

A グループ (本編)

- ・指導委員会作成中「机の隅に (仮称)」の原稿から抜粋。9月末原稿締切、10月中製本作業で進行中とのこと。
- ・谷田委員長から山口指導委員長へ、製本前の原稿データを提供頂くよう依頼する。

B グループ (資料編)

- ・高澤副委員長所持のデータをグループ全員で確認後、修正なければ事務局へ送付し、完了する。
- ・資料編終了後は本編データ編集を手伝う。

2) 新規開設建築士事務所講習会について

担当者の決定

- ・今年度講習会の講師は昨年度までの経験者が担当する。
- ・担当以外の委員もなるべく参加するよう、委員長より依頼。
- ・11月19日… 閉会挨拶 石原委員
- ・2月18日… §2 谷田委員長、§3 矢後委員、開会挨拶 谷田委員長、閉会挨拶 平野副委員長、司会 高澤副委員長

(2) 神事協スポーツ大会の開催について

- ・本日開催スポーツ大会のスケジュールの最終確認を行った。

(3) トライアルメンバー制度について

- ・谷田委員長より、理事会決定の運用方法や書式等説明。
 - ・会員期間は6か月。終了後、正会員入会またはトライアルメンバー退会。
 - ・入会后フォローや支部事業参加の有無判断を各支部にお願いするよう、周知を委員へお願いした。(意見・質疑等)
 - ・規程内で入会を制限されている「過去に正会員だった者」について、具体的例示が必要ではないか？(前代が以前正会員だったが、代替わりした場合は該当するのか？等)
 - ・退会届は必要か？活動に興味が無い場合は届出を出さないのではないか。
- ⇒統括委員長会にて谷田委員長が確認する。

(4) 支部長合同ブロック支部委員会の開催について

- ・11月27日(水)13:00~17:00 鎌倉芸術館 予約済
- ・懇親会場は10月1日に石原委員が予約予定。⇒鳥恵(とりけい)17:30~19:30 予約済
- ・参加予定者:全支部長、湘南ブロック支部役員、小林副会長、会長(30分~1時間後より)

テーマ(案)について意見

- ・支部事業報告 ・委員や役員の選出方法 ・本会への要望 ・個人/法人事務所の働き方
- ・会員の高齢化問題 ・支部HP運営方法 ・支部会員へのお知らせ等周知方法
- ・支部の人集め、コミュニケーション方法 ・支部長同士のコネクション形成
- ・働き方改革 ・コンパクトな会にするには? ・ブロック内の交流方法 ・会の活動参加促進方法

⇒テーマは次回委員会にて2つに決定予定

(5) 今後の行事日程について

今後の行事等確認

- ・11月1日~2日 賛助会セミナー …1日には懇親会あり。

(6) その他

- ・令和2年度予算要求について …委員長・副委員長にてたたき台を作成し、次回委員会にて議題とする。
- ・会員増強WGアンケートについて …日事連より依頼。ブロック支部委員会に回答案作成依頼有。
⇒委員全員にアンケート内容を共有する。
回答(案)は委員長がたたき台を作成し、担当副会長、副委員長は内容を確認する。

○小林副会長挨拶

次回委員会

10月25日(金)15時~ 神事協会議室、11月27日(水)13時~ 鎌倉芸術館、12月開催予定

以上

2019～2020 年度 第 5 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 ブロック支部委員会 議事録

開催日時	令和元年 10 月 25 日 (金)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 小林幸一 委員 長 谷田康司 副委員 長 平野武洋(欠) 高澤 智 委 員 坂本昌己(欠) 寺本 勉(欠) 岩田 崇 石原貴司(欠) 新倉良一(欠) 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事 務 局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 高澤副委員長 議事・進行

報告事項

- ・9/27 スポーツ大会 決算報告

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- 1) テキスト改訂について
 - ・本編 10/25 検討版 谷田委員長より説明。
 - ・おもな用語変更：「瑕疵」→「契約不適合」、告示 15 号の内容→告示 96 号の内容へ
 - ・§4 山口指導委員長と協議し、基本内容はそのまま掲載
 - ・委員全員で 11/11 までに確認し、11/22 までに事務局にて取りまとめ、原稿作成、11/27 委員会にて最終チェックを行う。
 - ・印刷については、全ページ原稿が決まった段階で見積り依頼をかける。
 - ・資料編 告示 98 号別表は記載しない。

2) 11/20 講習会の確認

- ・現在の出席予定者と運営担当について確認を行った。

(2) 支部長合同ブロック支部委員会の開催について

- ・テーマ 1. ブロックおよび支部間の事業および交流状況 2. 本会への要望
- ・2. より会長および副会長に参加いただく。
- ・対象：会長・副会長（16 時頃より）、小林副会長、専務、支部長、湘南ブロックの支部委員
- ・進行 谷田委員長 挨拶等は出席者が決定の段階で谷田委員長より依頼予定。
- ・懇親会には、可能な場合は委員会参加者に加え賛助会より 2 名お呼びする。

(3) 令和 2 年度予算要求案について

- ・谷田委員長より（案）説明。
- ・前年度内容をベースに、仕事展補助金を増額し、ブロック間交流促進事業を 1 回増加し要求する。

(4) 今後の行事日程

- ・今後の行事日程について確認を行った。

(5) その他

- ・トライアルメンバーについて、退会と代替わりについての確認は理事会で行う予定。

次回委員会

11/27 (水) 13:10～14:30 ブロック支部委員会 14:45～16:45 支部長合同ブロック支部委員会
1/31 (金) 15:00～17:00 神事協会議室

開催日時	令和元年 11 月 27 日 (水)	会 場	鎌倉芸術館 集会室
------	--------------------	-----	-----------

出席者	担当副会長	小林幸一			
	委員 長	谷田康司			
	副委員 長	平野武洋	高澤 智		
	委 員	坂本昌己	寺本 勉(欠)	岩田 崇	石原貴司
		新倉良一	矢後孝昭	吉田雅幸(欠)	渡部雅行
	事務局	久保田千尋			

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 平野副委員長 議事・進行

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

1) 新規テキスト改訂版について

- ・ タイトルに「改訂版」と入れることとする。
- ・ タイトルの「必携」の文字を削除する。

2) テキスト印刷について

- ・ 賛助会 3 社より提出された見積りを確認し、金額のより安い下記 2 社で検討した。
- ・ 柏苑社：指導委員会作成中のテキストと装丁等を同一に出来るが、予算オーバー。
- ・ ハマ印刷：前回と同会社かつ予算内。
- ・ ハマ印刷に決定。装丁については、谷田委員長と指導委員長ほかと合意のうえ決定。

3) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- ・ 2 月 1 8 日 担当者の決定
司会：高澤副委員長、開会挨拶：谷田委員長、§ 1：建築安全課、§ 2：谷田委員長、§ 3：矢後委員、§ 4：指導委員、閉会挨拶 小林副会長

4) 建築士定期講習について

- ・ 2 月 2 0 日矢後委員、3 月 1 6 日梅原前副委員長が「設計及び工事監理に関する科目」講師を担当する。

(2) 支部長合同ブロック支部委員会について

- ・ 進行および担当者の確認を行った。

1) 支部長合同ブロック支部委員会

- ・ 司会：谷田委員長 進行：平野副委員長
- ・ 小林副会長より：ブロック支部委員会の活動、位置付けについて説明する。
- ・ なるべく全支部長よりご意見頂けるよう、話を振る。

(支部長合同ブロック支部委員会への要望等)

- ・ 渡部委員：支部長は、他支部のことは分からない部分が多い。支部長合同の位置付けおよびブロック支部委員会の位置付け、会の位置付けを知らない支部長向けに、まずは説明してほしい。
- ・ 岩田委員：本会と支部の距離感は、どうすれば近くなるか？各支部長に本会と支部とを近づけるための工夫を聞きたい。
- ・ 小林副会長：支部・ブロックの役割
組織変更の趣旨については、総会直後の理事会にて会長より配布している。各委員会の役割について

も明記し、支部とブロックと本会の連携が大事、と謳っている。
会員は支部に必ず属し、本会に来ていただいている。支部なくして本会なし。
複数支部がブロックとなっている地域は、ブロック内での情報伝達をスムーズにして頂くよう、ご協力頂く必要がある。

2) 懇親会

- ・ 進行：高澤副委員長
- ・ 会長挨拶
- ・ 中締め：大和田副会長

(3) その他

- ・ 下記3点について、委員は次回委員会までに各自考えをまとめることとする。
- ・ 地引き網大会 次年度以降の実施について
- ・ 支部長合同ブロック支部委員会のありかた
- ・ スポーツ大会について
- ・ 来年度以降、委員会にて検討していく。

○岩田委員 閉会挨拶

次回日程：令和2年1月31日（金）15時～17時 神事協会議室にて

以上

開催日時	令和 2 年 1 月 31 日 (金)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋(欠) 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉(欠) 岩田 崇 石原貴司 新倉良一 矢後孝昭(欠) 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 高澤副委員長 議事・進行

報告事項

- ・ 4/10 支部長会開催予定

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

1) テキストの改訂について

- ・ 現在の修正状況を谷田委員長より説明。
- ・ あとがきは、2点記載する。
 - ①現行のあとがき、編集者②改訂版のあとがき（平野副委員長原案をもとに記載）、編集者
- ・ 表紙については、指導委員会発行『机の隅に』と帯色をあわせ作成する。
- ・ 本日で校了とし、本日までの修正を反映後、会長に内容確認頂く。
- ・ 販売価格は、会員：2,000 円 会員外：3,000 円（すべて税込：後日統括委員長会にて、「机の隅に」と販売価格を合わせ、税別価格 会員 3,000 円、会員外 5,000 円にて販売するよう見解が示された）とする。
- ・ 指導委員会発行『机の隅に』との販売の連携について、検討する。

2) 今後の予定について

- ・ 2/18 講習会の確認
- ・ 来年度講習会日程の決定
5/19 (火)、8/25 (火)、11/17 (火)、2/16 (火)

(2) 支部長合同ブロック支部委員会のあり方について

- ・ 次回委員会にアイデアを持ち寄る。

(3) 会員増強への取り組み方について

会長より検討依頼のあった標記について、谷田委員長より説明。

- ・ ブロック支部委員会で実効性のある内容を考える。
 - ⇒次回委員会にアイデアを持ち寄り、まとめる。
 - ⇒各支部での増強取り組み例があれば、持ち寄る。

(4) 地引網大会の開催について

- ・ 日程希望について ①6/13 (土)、②6/20 (土)、③6/27 (土) ⇒2/3に殿網に連絡。
後日、6/27 (土) に決定の旨、連絡あり。

(5) 令和 2 年度建築士定期講習について

- ・ 講師の決定
 - 第 1 期 5/25 (月)：平野副委員長、6/30 (火)：谷田委員長、
 - 第 4 期 2 月 (予定)：小林副会長、3 月 (予定)：岩田委員

(6) 「令和元年度の地方公共団体等への要望運動実施」について

- ・ 実施支部については、提出頂くよう、支部へ周知をお願いした。

(7) 今後の行事日程について

- ・ 日程の確認を行った。

(8) 「住・緑・家」運営特別委員会からの検討依頼

- ・ 小林「住・緑・家」担当副会長より説明。
- ・ 検討依頼については、下記にて回答することを後日谷田委員長に確認した。
 1. 情報提供の依頼があれば、都度、協力いたします。
 2. DM 送付実施の判断は貴委員会で行ってください。
※ブロック支部委員会で協力できることがあれば、協力します。
 3. 委員の推薦については、該当3ブロックに所属する委員が「住・緑・家」委員と一緒に人選を行うことに協力できます。

(9) その他

- ・ 次回委員会 3月13日(金) 15:00~17:00 神事協会議室
- ・ 各委員は、次回委員会までに下記の案を持ち寄る。
 1. 支部長合同ブロック支部委員会のあり方について
 2. 会員増強のアイデア
 3. 支部で実施している会員増強の事例
- ・ 次年度は委員会6回 うち3回は支部長合同委員会を同日に開催予定。
(支部長合同ローテーション) 県央⇒相模原⇒横須賀

以上

開催日時	令和 2 年 6 月 29 日 (月)	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉(欠) 岩田 崇 石原貴司 新倉良一(欠) 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 谷田委員長 議事・進行

報告事項

- ・ 建築士定期講習の中止 (5 月、6 月)

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- ・ 5 月分は中止、8 月分→9 月 29 日 (火) 実施予定に延期。
- ・ (担当) 司会：高澤副委員長 開会挨拶：谷田委員長 §1：建築安全課 §2：谷田委員長 §3：平野委員長 §4：山口指導委員長 閉会挨拶：小林副会長
- ・ 新しいテキスト (改訂版) を利用する。
- ・ 参加可能人数については、密にならないよう要確認。
- ・ 開催については神奈川県と緊密に連絡を取り、確認をする。

(2) 支部長合同ブロック支部委員会のあり方について

前回委員会終了後より委員より意見を募集し、募集した意見をもとに検討を行った。
 ⇒ 下記の意見をたたき台にしなが、次回以降委員会にて煮詰めていく。

(委員より募集した意見まとめ)

- ・ 支部での悩みを集約し、1 つ～2 つ議題を取り上げたうえ、懇親会を行う。
- ・ いくつかはグループ分けをし、ワークショップ。

(意見)

- ・ (谷田委員長) 議題についてブロック支部委員会から投げかけるのはどうか。
- ・ (岩田委員) 支部長会議より少し砕けた、本会との距離感の近い会合の設定。
支部の悩み、本会の目指す方向 等
- ・ (矢後委員) 支部長同士の面識があまりないので、スポーツ的な事を委員会前に設定し交流。支部長同士のつながりが出来るような交流をしたうえで会議を行えば、ざっくばらんな意見が出るのでは。
- ・ (石原委員) アイディア発信前に、ベテランと若手でペアを組み、グルーピング。アイディア創出をし、その後発信していく。⇒アイディアの出しやすさ。的を射た意見を出せるようにする体制作り。
- ・ (平野副委員長) 支部長もあわせてファシリテーターを選出し、グルーピングし、ワークショップにてアイディア創出。支部長の企画を重視しながら、ブロック支部委員会のアイディアを盛り込んでいく。また、各地域により事情が異なるので、決裁権を委員会や支部長に委譲するのはどうか。
土台、足元を固めてからでないとう方向性が定まらず上手くいかないのでは。方法論を検討する必要があるのでは。各支部の意見を上手く抽出するためには、ある程度の時間が必要。
- ・ (小林副会長) 風通しのよさ。本会は支部のバックアップとともに、支部へお願いする場合もある。行政からの依頼は、本会を通して行われる場合もある。事業目的を実現するためには、風通しのよさが必要。実現の方法については、今後も検討が必要。

- ・ (渡部委員) グルーピングを作る場合も一定のルールが必要では。1 回目は 近隣の支部で 3~4 グループに分ける、2 回目はメンバーを入れ替え、距離の遠い支部で、と回により変更する。
また、議題を事前に必ず策定し、資料も事前に配布のうえ、行う。

(3) 会員増強への取り組み方について

前回委員会終了後より委員より意見を募集した。

委員より募集した意見および本会、日事連の行ったアンケート結果等の資料をもとに検討を行った。

⇒今後も継続して検討していく。

(資料分析)

- ・ (神事協) 退会理由：廃業が最多。 入会理由：情報収集が最多。他事務所との協力関係作り、紹介、新規開設講習会への参加 等が続く。また、現在の会員平均年齢は約 63 歳。
- ・ 日事連実施の全国アンケートによると、会員増強に成果の出ている内容は、神事協の新規開設講習会の実施/トライアルメンバー/国保等が挙げられるが、目に見える成果は少なく、会によってばらばら。
一方、会員増強に障害となっている要因として、メリット不足を 26 単位会が挙げている。また、会費減額を求めている会が多い。
- ・ 入会メリットを明示できないと入会いただけないのでは。

(意見)

- ・ (矢後委員) 事務所協会という名前に力を持ってもらいたいが、影響力が少ない。外部に対する発信が少ない。⇒外部への発信が重要では。YouTube 等を利用した情報やイベント等の発信。
仲間カード・Pro フィールカード：外部へのアピールに利用。顔写真とプロフィール、趣味等を記載。
実際に作成しお客様に渡したら、お客様との会話が弾んだ。名刺とは違う効果あり。
また、行政では、個別の紹介が出来ない、名簿のみの紹介しか出来ないが、カードがあればアピールできる、選びやすくなるのでは。
新規会員が入会后、大きい支部はフォローが難しい。その際に、気軽に連絡できる先をカード等で確認できれば相談しやすいのでは。業務相談が出来ることは、新入会員に限らず、すべての会員事務所にも有用なのでは。
他団体との接触、連携。
- ・ (平野副委員長) アイディアを活かしつつ、カードの記載内容は検討が必要。
- ・ (渡部委員) カードの記載内容は検討が必要。県西支部は HP に会員紹介(メッセージカード、形式自由)を記載している。本会共通のフォーマットになればいいのでは。
また、HP ではなく、最近主体となっている SNS や、スマホより入れる媒体に情報発信源を変更していく必要があるのでは。
- ・ (岩田委員) 文京区区役所に事務所協会の名簿が掲示されてあった。役所にカードを置かせてもらうのは認知度上昇に良いのでは。役所とのタイアップ
- ・ (石原委員) 顔の「見える」化 各個人のアピール 最初は会員間でも良いので、交流をやってみると距離感が縮まるのでは。世間では顔写真つき名刺が一般化しているので、有益なことではないか。
- ・ (小林副会長) 何らかの形で外部への発信は有効。どこ向けに使えるものかを明確にしながらか作成していくことが重要では。

(4) 地引網大会 (10/24)、スポーツ大会 (11/7) の開催について

1. 地引網大会

- ・ 10時集合、10時30分網あげ予定。
- ・ 6/24より延期となっている。統括委員長会で確認し、実施の方向で進めていくこととなった。
- ・ 実施の可否については、国の施策を確認しつつ検討する。
⇒次回ブロック支部委員会にて方向性を決定する。(募集開始時期の検討、8月半ば頃めど)

2. スポーツ大会

- ・ 今現在の内容で実施企画書を県西支部 山口様に作成頂いた。
- ・ 今後の状況により変更の可能性あり。
- ・ 今後も連絡を密にし、決定していく。

(5) 他委員会からの検討事項

○災害時に行政より要請があった際の神事協としての体制の確立（指導委員会より）

（谷田委員長より報告）

- ・ 災害時に行政等から要請があった場合の相談員派遣を支部より行いたいとの依頼が指導委員会よりあり。
- ・ 先行して講習会を8月上旬頃に行う予定。
- ・ ブロック支部委員会の役割：各支部への内容伝達と相談員派遣の依頼、講習会のバックアップ
- ・ 指導委員会、業務支援委員会、ブロック支部委員会3委員会合同で講習会を実施。
- ・ 3委員長および小林副会長で会議を実施している。2回目：7/8。次回会議で詳細が決定した場合は、7/17理事会で決定予定。

(6) 今後の行事日程について

- ・ 7/31 合同委員会（WEB会議）への参加要請がなされた。

(7) その他

- ・ 次回委員会日程 7/28（火）15：30～17：00 WEB会議

議題：新規開設「建築士事務所」講習会 参加者確認、相談員派遣関係の確認、地引網大会の確認

○平野副委員長挨拶

開催日時	令和2年7月28日(火)	会場	WEB会議
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇 石原貴司(欠) 新倉良一(欠) 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 谷田委員長 議事・進行

報告事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する対応について、正副会長の検討を行っている。8月以降の会議、講習会等イベントについて、参集しての会は、年内は中止とする方針となる予定。

1. 議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- ・ 9/29 講習：受講者8名予定。5名は入会済。各委員の役割を確認。
- ・ 神事協の今後の方針(予定)は、前記参照。
- ・ 神奈川県の「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」(令和2年7月9日付)にて、会議・研修等の開催を、令和3年3月31日まで原則中止または延期とするよう、方針が出ている。
→神奈川県の後援および講師派遣が、対面講習の場合、難しい。
- ・ 1.本会の方針 および 2.神奈川県の方針 を踏まえると…
 - ・ 県より講師派遣が不可の場合、指導委員のかたに§1の講師をお願いする？
 - ・ Web開催となる場合、支部長を招いての懇親が難しい。
- ・ (平野副委員長) Web開催が可能ならやるべき。ZOOMで出来る方向を探る。ZOOM環境のない受講者については、これから準備頂く。
- ・ (高澤副委員長) 開催の方向で、開催方法については検討する必要あり。
- ・ (寺本委員) 今後の状況を考えると、Webを利用した方法を模索していく必要あり。

⇒Web開催の方向で検討。具体的な方法は次回以降、検討する。

(2) 支部長合同ブロック支部委員会のあり方について

○前回委員会での基本方針

- ・ いくつかの支部毎にグループ分けし、ディスカッション。意見集約。

○委員提案

- ・ (矢後委員) 支部長同士の親睦優先。交流後に意見交換を行うと意見が出しやすいのでは。
- ・ (吉田委員) 頻繁な開催でないと効果がないのでは。短い時間でも、定期的にWebで開催すれば、参加もしやすく効果的なのは。
- ・ (谷田委員長) ある支部長より、支部持ち回りで年数回出来ないかとの要望あり。支部長+ブロック支部委員での会合で、意見を出し合える場を希望されている。
また、回数を増やすことに抵抗があるかたもいるので、意見集約が必要。
- ・ (渡部委員) 支部長会、合同役員会はやっていくべき。新規講習会後等、支部長の集まる機会を利用し、

終了後の時間に実施すると、負担が少なく集まりやすいのでは。

- ・ (岩田委員) 年1~2テーマ等、テーマを絞り込み、事前に答えを準備のうでディスカッション出来れば、濃い内容となりモチベーションが上がるのでは。
- ・ (平野副委員長) 趣旨を事前連絡。悩みを持ち寄る。事例報告や相談が出来る場。
- ・ (寺本委員) ブロックの課題解決のプログラム設定。回数を増やすか、情報収集・発信を間に挟みつつ、双方向のやりとりを重視した会合を少ない回数で実施すると良いのでは。
- ・ (吉田委員) 支部の悩みと本会の悩みは同一では。1.高齢化 2.退会会員の遺留方法等。現在の支部の悩みとして、Web講習会のやりかたがある。他委員会との関わりとなってくるのでは。
- ・ (谷田委員長) 日事連のアンケートも同様な悩み。全て含め、ほかの支部にも共有する事に意義があるのでは。

⇒これまでの委員会での検討内容をまとめたものを谷田委員長より提示し、次回委員会にて方針を決定する。

(3) 会員増強への取り組み方について

- ・ 谷田委員長より、配布資料の説明。(神事協のアンケート、日事連のアンケート、サステナブル運営)

○委員提案

- ・ (矢後委員) プロフィールカードの作成：高齢者等アナログ利用メインのかたや、各所、事務所協会員同士に配布。写真つきのアピールカード。
- ・ (谷田委員長) 内容の検討は必要だが、実施の場合、戦略企画委員会へ検討依頼を出す必要あり。検討依頼前に、ブロック支部委員会の考えを統括委員長会に明示したいが、よいか。
- ・ (岩田委員) 写真付きであることで、覚えやすい。会員間の距離が近くなるのでは。
- ・ (渡部委員) 県西支部では、支部HPにて自由記述の会員紹介(A4 1枚)を掲載済。
- ・ (吉田委員) アンケート結果によると、入会理由として、情報収集とスキルアップ目的が多い。
→Web講習のデータベース化(後から見返せる)、業務Q&A(一般例)作成とデータベース化
会員サービスとして、支部で実施予定。
原点帰し、会員サービスとなるものを整備する事が重要では。
- ・ (谷田委員長) 講習会等のデータベース化は、本会DXWGでも検討中。
- ・ (平野副委員長) 業務Q&Aについては、行政や検査機関によって対応が異なるものが多いので、公開して良いか、最終掲載判断は誰が責任を取るのか等、慎重な検討が必要。
- ・ 業務Q&Aについては、指導委員会との調整を模索。

⇒次回 内容を含めて再度検討する。

(4) 地引網大会(10/24)、スポーツ大会(11/7)の開催について

- ・ 日程の再確認。現段階では、9月より募集をかける予定。
- ・ 31日支部長会にて、今後の方針が示される。中止の可能性もあり。

(5) 災害時等相談支援について

- ・ 7/27午前中に小林担当副会長および谷田委員長、指導委員長および業務支援委員長にて会議を行った。
- ・ 全4回のシリーズ。
- ・ ブロック支部委員へ、8/28(金)1回目講習の受講を依頼された。
- ・ 運営協力および相談体制作りがブロック支部委員会役割。体制作りは、2回目の講習終了後頃より検討予定。

○意見

- ・ (吉田委員)「土砂崩れによる被害」を各論に追加してほしい。(今年の台風の被害が多かったため)
→谷田委員長より提案する。

(6) 今後の行事日程について

- ・ 今後の日程を確認した。

(7) その他

- ・ 次回以降の委員会日程

8月24日(月) 15:30~17:00 Web会議にて

○高澤副委員長挨拶

開催日時	令和 2 年 8 月 24 日 (火)	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋 高澤 智(欠) 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇 石原貴司 新倉良一(欠) 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 谷田 委員長 議事・進行

報告事項

議 題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

9/29 講習会については、WEB 開催を予定している。開催方法について検討した。

(委員意見)

- ・ 使用ツールは、決め打ちにするしかない。(寺本委員)
- ・ 慣れているツール ZOOM ミーティングを使用するのが良いのでは。事前に受講者に ZOOM 使用の旨は周知が必要。(平野委員)
- ・ WEB 講習会は、時間調整が難しい。時間内に収められるか、懸念事項。「机の隅に」講習会では、担当する講師間で時間調整を行った。通信障害を考えると、本会に集まったほうがよい。(吉田委員)
- ・ 録画人員および資料の提示有無、サポート要員をどうするか、事前に準備が必要(小林副会長)(吉田委員)
- ・ テキストに沿った内容以外に話す場合も多いので、資料の表示は必ずしも必要ではないのでは。また、後日動画を配信する場合は、誤り等がないか確認する必要がある。編集の機会が YouTube 等にアップロードする前に必要。(平野委員)
- ・ テキストは手元にあるので、映さなくても良いのでは。(矢後委員)

(検討結果)

- ・ 9/29 当日に講師は本会に集まり、リアル開催。ZOOM ミーティングを使用し、ライブ配信する。
- ・ 意見交換会は、支部長および副支部長を呼ぶ。各事務所より参加頂く。
- ・ 資料については、画面に映さない。講師の講義のみ。該当のページの箇所は頻繁に発言する事。
- ・ ZOOM にて参加できない申込者や、通信障害の可能性も鑑み、後日 YouTube 限定配信を検討。

(2) 支部長合同ブロック支部委員会のあり方について

これまでの委員会検討内容をふまえ、谷田委員長より「支部長合同ブロック委員会のあり方(案)」が示された。

支部長合同ブロック委員会のあり方(案)

1. 目的

定款施行細則に定められた目的達成のため、支部及びブロック相互の情報の 共有や本会への要望の集約を図るほか、懇親会等を通して交流を深めるため ブロック持ち回りによる移動委員会を開催する。

2. 会議の持ち方

- ① 関心の多い 2～3 のテーマを設定し、事前に支部長(参加者)に連絡する。
- ② 合同委員会で出席者を 2～3 のグループに分けてグループ討議する。
(リーダーはブロック支部委員が担当する)

- ③ 次に全体会を行いグループ討議の内容をリーダーが発表する。(ここから正副会長が参加する)
- ④ グループ討議の内容について全体会で意見交換する。
- ⑤ 年度内に2回程度開催する。
- ⑥ 会議の結果を神事協全会員に周知する。

3. 参加メンバー

○前半の部

- ・支部長
- ・ブロック支部委員会委員
- ・移動委員会会場周辺の会員及び賛助会員
- ・事務局職員

○後半の部

- ・前半の部参加メンバー
- ・正副会長
- ・専務理事

- ・ 示された(案)を骨子として統括委員長会等に谷田委員長より提案していく。
- ・ コロナ禍が収束し、対面で実施できるようになってからの実施を目指す。現在の状況が長引くようならWEBで実施を検討。

(3) 会員増強への取り組み方について

前回委員会までに検討した内容に加え、下記の意見があった。

- ・ 県西支部 HP 会員紹介：HPを見て仕事を依頼しているお客様がいる。(渡部委員)
- ・ 県西支部 HP は、元々鎌倉支部が作っていた会員紹介を原案に作成している。鎌倉支部の仕事展で、事前準備の参加が難しい会員の紹介に使用していたことがある。(小林副会長)
- ・ 神事協 HP 会員名簿にリンクを載せる、会員紹介の紙へリンクするようにすると良いのでは。または、掲載内容ひな型を作成し提案することで、業務支援委員会と提携していけるのでは。(吉田委員)

⇒ ブロック支部委員会の(案)として、頃合いを見て統括委員長会に提案していく。
提案時には、ブロック支部委員会に確認する。

(4) 災害時等相談支援について

- ・ 8/28第1回目の講習会を募集中。ブロック支部委員会へ参加依頼を再度行った。
- ・ 各地域の活動に貢献する機会。他団体(建築士会、JIA)からも賛同頂いている。
- ・ 本日時点で56名の申込あり。

(5) 今後の行事日程について

- ・ 今後の予定の確認を行った。

(6) その他

- ・ 支部と委員の現状について、報告を行った。

(支部活動)

- ・ 川崎支部は、ZOOM会議を実施。対面で集まることは出来ていない。70周年記念式典が中止となり、来年実施予定。
- ・ 鎌倉支部は、年度明けよりミーティングが出来ていない。チャット共有、情報交換のみ。ZOOM等Web会議の導入も難しい状況。
- ・ 県西支部はイベントが全て中止となっている。Web会議は本会の導入と同時期ごろに始めた。また、公共の仕事を受注した。支部会員に依頼予定。
- ・ 相模原支部は、月1回程度会議を行っており、8月頭には対面会議を行った。対面会議は集まった人数は少なかった。「机の隅に」テキストを支部会員に福利厚生として配布。
- ・ 座間支部は、9月実施の座間市防災訓練に参加し、防災や耐震の重要性をアピールする予定。

- ・ 小林副会長より、ブロック支部委員会が支部と本会の風通しがよくなる潤滑剂的な役割となるよう、依頼があった。
- ・ 次回の委員会日程
10月実施予定。9月に日程決定する

○平野副委員長 挨拶

開催日時	令和 2 年 11 月 2 日 (月)	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長 小林幸一 委員長 谷田康司 副委員長 平野武洋 高澤 智 委員 坂本昌己(欠) 寺本 勉(欠) 岩田 崇(欠) 石原貴司(欠) 新倉良一 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事務局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 谷田委員長 議事・進行

報告事項

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- ・ 令和 2 年 11 月 17 日 (火) 開催分 時間割および担当、受講者の確認
 司会進行：高澤副委員長 開会挨拶：谷田委員長 §1：神奈川県建築安全課 §2：谷田委員長
 §3：平野副委員長 §4：清水指導副委員長 閉会挨拶：小林副会長
- ・ 対面との変更点：質疑は講習後、メールにて別途募集する。意見交換会の前に休憩 5 分を設け、支部長に入ってもらおう。
- ・ 10 名受講予定。(吉田委員より) 相模原支部入会手続き中の 1 名も申込み予定。
- ・ 令和 3 年 2 月 16 日 (火) 開催分 担当の決定
 司会進行：高澤副委員長 開会挨拶：谷田委員長 §1：神奈川県建築安全課 §2：谷田委員長
 §3：矢後委員 §4：齋藤指導副委員長 閉会挨拶：確認

(2) 令和 3 年度・事業計画案および予算要求案策定について

- ・ 会長より示された令和 3 年度予算方針および、小林担当副会長・谷田委員長・平野副委員長・高澤副委員長で作成・確認したブロック支部委員会事業計画案・予算要求案の確認。
- ・ 事業計画については、白井会長から示された予算方針に記載の「支部と本会の連携強化」をもとに下記の内容にて検討。

【事業計画書 (案)】

白井会長から示された令和 3 年度予算方針に則り、次の事業を計画する。

1. 会員増強を促進するため、新規開設講習会を 4 回開催する。
2. 支部と本会の連携強化を図るため、ブロック間交流促進事業 (意見交換会等) を 2 回開催する。(移動委員会とする)
3. 会員の交流と親睦を目的に、地引網大会及びスポーツ大会を開催する。
4. トライアル会員制度について周知する。

※講習会や委員会の開催については対面方式を基本として計画しているが、都度、新型コロナの感染状況を見極め、オンラインでの開催も視野に入れ活動する。
 (地引網大会、スポーツ大会も同様に開催の可否について判断する)

- ・ 予算要求案については、コロナウイルス状況が読めないで、今年度予算をベースに作成。
- ・ (今年度との変更点) 仕事展の開催促進をするため、仕事展補助金への予算配分を多めに設定した。

⇒事業計画案および予算要求案については、現在の (案) の内容にて提出する。

- ・ (吉田委員) 相模原支部は、毎年 4 月～5 月ごろ、相模原市のさくらまつりにあわせ仕事展を実施している。補助金を頂くことはできないのか。考慮頂きたい。
- ・ (谷田委員長) 補助金募集の段階ですでに終了した事業についても、去年は募集している。実施した際の資料等担保をしっかりと準備しておく必要はあり。
- ・ (小林副会長) 三村総財務委員長と協議した。実施の意志表示は前年度より必要ではある。補助金の分配は次年度の内容となるので、金額の提示は難しい。公益事業が終了し、ブロック支部委員会

の一予算となったため、補助金全体の予算枠が減っている。大きな金額の補助は難しくなっている。

(3) 令和2年度しごと展補助金について

- ・ 小林担当副会長・谷田委員長にて作成・確認した令和2年度しごと展に係る補助金制度等について（案）の提示。
- ・ 支部活動に関する調査結果の提示。…しごと展実施予定は3支部あり。
- ・ 補助金対象については、仕事展実施に限る。
- ・ 補助金額は、支出の半額、上限は1事業8万円とする。ただし、応募状況により検討する旨、記載する。
- ・ 申請については、ブロック支部委員会にて確認・検討し、正副会長・総財務委員の承認を得る。
- ・ 審査は担当副会長と正副委員長に一任し、委員に報告する。
- ・ 理事会へは報告のみとする。
- ・ 鎌倉支部がWEB開催となるので、予算に含めていい費目に「WEB製作費」等、追加する。（関連の提出書類に項目を追加する。）

(4) 令和3年度地引網大会・スポーツ大会の実施について

- ・ 事業計画案と予算要求案にて確認のとおり、実施方向で検討する。
- ・ コロナウイルス感染状況により中止となる可能性はあり。
- ・ 地引網時期・予約：時期を鑑みながらブロック支部委員会にて検討し、予約する。
- ・ スポーツ大会：県西支部にて実施予定。バドミントン…詳細については、県西支部に谷田委員長より改めて確認する。
（小林副会長）オリンピック後の11月頃目安で計画予定。
- ・ 会場の体育館等のコロナ対策が今後も続くと考えられるが、どうなっているのか。
⇒限られた人数で行い、一部開放をしている状況。来場者数制限や、感染防止対策、貸出面積の制限が今後も行われる可能性あり。

(5) 支部長合同ブロック支部委員会のあり方、会員増強への取り組み方について

- ・ 8月24日ブロック支部委員会にて検討した結果を谷田委員長より統括委員長会にかける予定だったが、コロナウイルス感染状況が芳しくないため、提案ができずにいる。時期を見極めて提案予定。

(6) 災害時等相談支援について

- ・ 指導委員会、業務支援委員会、ブロック支部委員会にて、災害発生時に迅速に対応できる体制作りを目標に実施。
- ・ 小林担当副会長、谷田委員長、山口指導委員長、永島業務支援委員長4人で、台風シーズン前の7月頃より、勉強会を計画・8月～10月にかけて実施した。
- ・ 準備段階の会議では、建築士会・JIAの防災関係の委員も参加した。
- ・ 今後の展開については検討中。（名簿作成、勉強会の追加開催、行政へのPR等）
（意見等）
- ・ 災害時の組織の立ち上げ方法の講習を支部長あてに別途実施すると良いのではないかと。
- ・ 行政等から依頼が来たあとの本会の対応、支部への依頼等のフローを検討する必要があるのでは。

(7) Web会議等仕様ツールの使用状況と情報提供について

- ・ 白井会長より、委員会で使用しているWeb会議ツールに関する使用状況のアンケート依頼あり。
（意見等）
- ・ （谷田委員長）会話が一方通行になりがち。掘り下げた話が対面に比べ難しい。対面ならでは可能なコミュニケーションが難しい。
- ・ 会議への移動時間が必要ない。
- ・ （吉田委員）会議が気軽に出来る反面、会議量が膨大になっている。開催時間の調整（朝一、午後一等）を検討してほしい。
- ・ （渡部委員）今まで何度もWeb会議に参加し、不具合はなかった。本日初めて、接続が2時間近くできなかった。（承認されているにも関わらず、承認待ち状態が続き、画面が開かない。PC: Win10）

⇒谷田委員長にて内容をまとめ、提出する。

(8) 今後の行事日程について

- ・ 確認を行った。1月20日予定の賀詞交歓会は、実施方法を正副会長会・総財務委員会で模索中。

(9) その他

次回以降の委員会日程

- ・ 令和3年1月26日（火） 15:00-17:00 Web会議
- ・ 11月17日新規開設講習会への参加要請が委員になされた。
- ・ 「机の隅に」2020年改訂版 新規開設の講習会でPRできないか？
⇒ 「机の隅に」案内を、講習受講者へのテキスト送付時に同封する。

○高澤副委員長挨拶

以上

開催日時	令和 3 年 1 月 26 日 (火)	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長 小林幸一 委員 長 谷田康司 副委員 長 平野武洋 高澤 智 委 員 坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇 石原貴司(欠) 新倉良一(欠) 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行 事 務 局 久保田千尋		

- 小林担当副会長挨拶
- 谷田委員長挨拶
- 谷田委員長 議事・進行

報告事項

- ・ 1/15 理事会 ブロック支部委員会報告事項
- ・ 令和 2 年度しごと展補助金について、小林担当副会長および正副委員長にて審査し、統括委員長会に報告のうえ、12 月 21 日補助金額を内定したことが報告された。(申請支部：鎌倉支部、平塚支部、大和綾瀬支部) 補助金額の確定は、実施終了後の報告書確認後となる。

議題

(1) 新規開設「建築士事務所」講習会について

- ・ 2/16 講習担当者、受講予定者 (17 名予定) の確認
- ・ 講習担当以外の委員へも、委員長より参加要請がなされた。
(来年度の講習について)
- ・ 6 月に神事協の役員委員改選があるので、改選後の 7 月、9 月、11 月、2 月実施予定にて、新委員会にて検討する予定。
- ・ 開催方法：対面方式で計画をし、状況により WEB 開催に変更する。

(2) 令和 3 年度地引網大会・スポーツ大会の実施について

- ・ 地引網大会・スポーツ大会ともに実施の方向で検討する。
- ・ スポーツ大会については、来年度 11 月頃実施予定で準備している。(県西支部)
- ・ 地引網大会については、例年 6 月頃実施しているが、現在の状況だと人が集まらないのではないかと。
- ・ 8 月末～9 月頃等、夏～秋頃実施が良いのでは。
→ 8 月 21 日 (土) 頃開催予定で検討する。予約は様子を見つつ行う。

(3) 令和 3 年度建築士定期講習講師推薦について

- ・ 第 1 期 令和 3 年 5 月 25 日 (火)、5 月 30 日 (日)、5 月 31 日 (月)、6 月 11 日 (金)、6 月 16 日 (水)、6 月 29 日 (月) 第 4 期 令和 4 年 2 月～3 月 横浜市技能文化会館にて実施予定。
- ・ 第 1 期は、DVD 講習での実施の可能性が大きい。第 4 期は講習実施方法未定。
- ・ 会場収容人数を減らしている関係で、実施回数が増える可能性がある。追加で講師を増やす可能性あり。
- ・ 今年度講師の小林副会長、谷田委員長、平野副委員長、岩田委員に引き続きお願いするとともに、矢後委員を推薦することとする。担当日程については、会場決定後、相談する事とする。

(4) 『災害時相談員のための勉強会』受講者の名簿化及び勉強会の追加配信の検討等について

- ・ 業務支援委員会にて作成した名簿を、ブロック支部委員会にて取りまとめる。その方法とブロック長・支部長への承認方法、行政への配架の可否、受講者のいない支部 (茅ヶ崎寒川支部、伊勢原支部) の取扱いの検討。
- ・ 台風 19 号相談員の名簿化についても提案がある。
- ・ 名簿の取扱いについて、本会はどのように考えているか。作成後の活用方法は、災害時に名簿掲載者が協力してくれる場合は、災害時の窓口が本会となる可能性が高いので、本会が名簿を管理していればよい。行政に名簿を提供しても、行政が個別の事務所に連絡する可能性は低い。本会から支部に依頼が来た際に、支部が相談協力者を募る際に活用すればよい。

- ・ 災害時は、神事協だけではなく他団体へも要請があるため、神事協会員も他団体からの要請にて応じている場合が多い。その場合は、神事協からの要請を断られる可能性が高い。
- ・ 名簿は必要。1支部で対応の難しい場合に、他支部へ応援要請をする際の参考となる。
- ・ 業務支援委員会 1月15日理事会・委員会活動報告より

②災害時等相談支援 「災害時相談員のための勉強会（4回シリーズ）」

- ・ 勉強会4回終了後の予定
 - ①市民向け災害ノート・パンフ作成
 - ②賛助会との連携（勉強会含む）
 - ③災害に関するHP開設
 - ④受講者名簿作成 ⇒ 作成準備中
 - ⑤行政アピール

1月21日実施予定のブロック支部委員会にて、参加者名簿案を提出する予定。

また、昨年度の台風被害相談に対応した会員名簿も作成すべきではとの意見が（業務支援）委員会であったことから、作成する方向性で検討する。

行政アピールについては、参加者ゼロの支部もあるため、名簿は、ブロック単位で作成する。

- ・ 本会のBCP（担当：福田副会長）の動きと連携し、名簿作成の必要あり。
- ・ 神事協HPの名簿に、災害支援実施事務所の旨追加掲載するのも良いのでは。
- ・ 名簿には支部・事務所名・所在地・連絡先のほか、役職を記載すると良いのでは。
- ・ 名簿作成後、本会での保管のほか、各支部・講習受講者への周知が必要。ブロック支部委員会は作成のみ、公表や活用方法は本会で別途検討、支部との調整が必要。
- ・ 災害時の依頼として、被災者からの直接依頼・行政からの間接依頼のケースがある。何らかの形で公開は必要では。

→災害時相談員講習受講者名簿及び台風19号対応相談員名簿作成を実施。

名簿に記載する項目は、要検討。

名簿はブロック単位で作成し、支部長（ブロック長）に名簿作成の確認を取る。

活用方法については、相談員講習会を担当した小林副会長、指導委員長、業務支援委員長、ブロック支部委員長の意見を集約したうえで、統括委員長会や理事会にて検討するよう要請する。

勉強会の継続的な発信を提案する。

- ・ 災害時相談員講習を受けたが、重複した資料が多い。まとめられないか。
 - ・ また、内容が詳細すぎて、実際の現場での動きが不安。
 - ・ 内閣府の内容が簡単にまとまっているので、講習内容をコンパクトにまとめられるのでは。
- 資料の整理を要請する。

(5) 今後の行事日程について

- ・ 今年度および来年度初頭の予定確認がなされた。

(6) その他

- ・ 次回委員会日程 3月22日（月）15時～ Web会議
- ・ 支部長合同ブロック支部委員会については、コロナウイルスの状況が落ち着き次第、統括委員長会にて提案予定。今期中に難しい場合は、来期への申し送り事項とする。
- ・ 小林副会長より 次年度委員会・次年度活動についての現在の状況について

支部の状況

- ・ 川崎支部は、最近入会者が増えている。対面で会うことが難しいので、WEB環境を活かし、新入会員に支部会議へオブザーバー出席頂く等、支部活動への参加機会を設けられないか、考えているところである。
- ・ 厚木支部は支部活動が出来ていない。Web会議も出来ていない。今後の活動が不透明だが、対応していくしかない。
- ・ 愛川支部は、定例会を集まって実施している。行事は一切できていない。
- ・ 横浜支部は、ZOOM会議を実施。しごと展は手探り状態。景観・まちづくり特別委員会では、Webで出来る活動を模索中。3月26日に講習を実施し、Web対談も予定。自社の活動はWebで積極的に動いている。コロナ禍のなかでも積極的に活動していくことが重要。

- ・ 県西支部は、ZOOM 会議を実施。役員以外の支部会員にも声がけし、ZOOM を始めてもらうことができた。実際に使ってもらおうと好評なので、身近に教えるひとがいれば、ZOOM の利用も含め、新たな試みも可能なのでは。支部会員の高齢化が進んでいるので、若手会員を増やす・既存会員に少しでも長く所属してもらおうべく、模索中。
- ・ 相模原支部は、高齢者が多く Web 会議が難しい。今後、Web ツールを利用できる会社と出来ない会社で格差が出るのでは。Web 対応出来るようになる簡単な講習会の実施が必要では。
- ・ 座間支部は、対面で最低限の人数で役員会を実施している。PC ツールの利用も、高齢化により難しい場合がある。支部の活性化のためにも新たな試みが必要。県央ブロック内の講習は実施できていない。
- ・ 横須賀支部は、横須賀市ほか関係団体とのイベントは中止となった。FM ブルー湘南にて支部の活動を紹介している。市の担当者をゲストに呼ぶこともある。情報発信・啓蒙活動。
Web 会議は、意見が言いにくい部分がある。今後 Web 化が進んでいくことを鑑みると、会議内での分科会の実施、飲み会の企画をする等アトラクションを含めることが必要では。

○平野副委員長挨拶

以上

開催日時	令和 3 年 3 月 22 日 (月)	会 場	WEB 会議
------	---------------------	-----	--------

出席者	担当副会長	小林幸一(欠)
	委員長	谷田康司
	副委員長	平野武洋 高澤 智
	委員	坂本昌己(欠) 寺本 勉 岩田 崇 石原貴司(欠)
	事務局	新倉良一 矢後孝昭 吉田雅幸 渡部雅行

- 平野副委員長挨拶
- 谷田委員長議事・進行

報告事項

議題

(1) 『災害時相談員のための勉強会』受講者の名簿の配布方法と勉強会の追加配信について

- ・ 2/19 統括委員長会にて、業務支援委員長およびブロック支部委員長の意見をもとに業務支援委員会が名簿を作成した。
- ・ (名簿掲載内容) 事務所名、参加者、連絡先をブロック毎に掲載。本会での委員役職の掲載。
- ・ 本会 HP 掲載とともに、各支部へ提供し活用頂く予定。
- ・ 4/9 支部長会にて資料を提出し、内容を確認頂く予定。
⇒現在の内容にて支部長に確認頂き、進めることとなった。

(2) 令和 2 年度 新規開設「建築士事務所」講習会の報告及び次年度への課題について

- ・ 総財務委員長へ提出する講習会実施報告書の確認。
- ・ 受講者アンケート結果の確認。(21 名回答/受講者 47 名)
(アンケート内容を受けた意見)
- ・ 講師の立場として、自分の仕事範囲と講習内容が不釣り合いな場合がある。ブロック支部委員会であるから誰でも講師となるのは難しいのではないか。
- ・ 受講生により習熟度が異なる、また、講師経験がほとんどない場合も講師担当となることがある。すべての受講生に満足した内容を届けることは難しい。
- ・ ブロック支部委員会からではなく、専門の講師をたてることはできないか。検討が必要では。
- ・ 専門分野が委員により異なるので、専門外の内容が講義に含まれる場合は、神事協に入会すると知識を増やす機会が増える等、アプローチを変えると良いのでは。アンケート結果をきっかけに改善がすすめばよいと考える。
- ・ Web 講習のため、相手の顔が見えない難しさがある。
- ・ 複数人が関わる講習会は、関係担当者により理解度が異なる。また、事前準備がほとんど。事前に委員会でレジュメおよびカンペ(案)などを準備確認し、内容を議論する必要があるのでは。情報を整理し伝えていく必要があるのでは。
一度講習を実施し、資料が完成すれば、次回以降の資料として引き継ぐことができる。
⇒個々の講師に過度な負担とならないよう改善が必要な旨、報告書に追記し総財務委員長に提出するとともに、次年度以降への申し送り事項とする。

(3) 神事協の「新しい方向性(案)について」意見交換

- ・ YouTube に公開された神事協の「新しい方向性(案)について」、3 月 19 日理事会にて検討された。(委員および支部で話された意見等)
- ・ 先ずは、現機構で 2 年間活動してきた良かったところ、悪かったところを洗い出し総括を行うのが先で、その後に組織改編について議論することが順序だと考えるが、そのことへの明確な説明がないままに、機構図(たたき台)が独り歩きしている状況が理解できない。(動画を視聴してもよくわからない)
- ・ 現在の組織のブロック支部委員会にて検討がないまま出されたので困惑している。

- ・ (たたき台組織図の問題) 指導委員会の実施している相談と鑑定を分けて良いのか、木造専門委員会がない、理事会の上に組織を新たに作る場合は、定款を変更しないとならない
- ・ 動画にて公開したからには、意見を収集し統計を取っていただくことを正副会長が約束してくれたと認識している。提案を改善し支部長の意見を取り入れ、新しいことを実践することは良いこと。出来ることの判定をふまえ形にしていくことが大切。会の執行部が今後どう動いていくのか、見守る必要がある。
- ・ 現状の組織の総括が必要。新しい方向性をしっかり説明してほしい。委員の負担が更に増えることが心配。時間をかけて会員の理解が得られるまで議論する必要がある。
- ・ 定款に沿わない組織、発言力を持った方の発言のみ通る組織となっては問題なのでは。
- ・ 指導委員会の意見を聞かず、指導委員会から委員会を分離していることは問題ではないか。
- ・ 支部とブロック支部委員会の位置が逆転しているような状態は問題。
- ・ 副会長内で同意を取れていない内容で動画や組織図を出していることは問題。
- ・ 理事、常設委員の推薦依頼を支部へ出した後に組織図を出されても対応が難しい。
- ・ 広報情報委員会が会報誌編集特別委員会と分離している。広報情報委員会の活動内容がこれまでと変わるのか。支部会員より質問があったが、内容が分からないので答えられない。
- ・ 支部会議で Web を活用し、若手会員も交えこれからの方向性の検討を行っている。
- ・ 一般会員に組織図たたき台の情報が一切伝わってこない。(動画内で少し出てきてはいる)
- ・ 神事協はブロック、各支部の活性化があって成り立つ組織であり、支部長会(会員)からの様々な意見が直接本会に届く組織であることが本来の姿だと思うし、また、そうあって欲しい。
- ・ 機構図が正式に出たのは3月19日理事会。2月統括委員長会で資料提供をお願いしたが、この資料は頂けなかった。
- ・ 支部長会と理事会が離れている。支部会員の意見が理事に集約されるのか疑問。ブロック支部委員会を通さないと支部の意見が通らなくなってしまうのは問題。
- ・ 青年部会が全くなり、オブザーバー参加のみとなっている。今まで作り上げてきた青年部会活動がなくなってしまう。発言の機会がなくなってしまうのでは。
- ・ 当事者の行った事柄の分析もせず新組織となってしまう。継続した活動が出来ていない。以前の活動の引継ぎが出来ておらず、次の活動へつながらなくなっている。
- ・ 青年部会を運営する主体がなくなってしまうので、青年活動を運用する機関がなくなってしまう。次世代が神事協活動そのものへ参加して頂けなくなるのでは。次世代を全く見ていないのでは。
- ・ 現機構図が出来た背景には様々なプロセスがあったことを忘れたかの如く、青年部会をはじめ消滅する委員会があることの説明が欲しい。
- ・ 未来に繋げる事業専門委員会にて以前行ったアンケート内容が形になっているとの事だが、組織図は今までの積み重ねがなくなっているように感じる。
- ・ 景観・まちづくり特別委員会で行っていた県からの委託事業が、応急仮設住宅等検討専門委員会に引き継がれ、災害協定締結も含めて行っていくことが必要となり災害時対策特別委員会に変遷していった。そのような流れがほかの委員会でもあるのか、他委員会に流れが見えないため、判断が出来ない。
- ・ 一般社団は、理事会が決定機関のはずなのに、正副会長会が決定機関のように見える。詳細説明を頂いた上での議論が必要。
- ・ 支部長会の位置付けが分からないことが問題。支部長から直接理事会ではなく、支部長→ブロック支部委員会→理事会のフローは支部が了解しないのでは。戦略企画委員会もなくなっているのはなぜか。ブロック支部委員会が支部長会の意見を集約し、理事会へ上程することは無理がある。ブロック支部委員会の位置づけが重すぎる。
- ・ 組織図内 (一社) かながわ建築事務所協会(県事協)とは: 神事協会員の有志が出資し設立した別組織。事務所登録あり。市町村からの事業を県事協が受託し、支部にて事業を実施している。(支部としての事務所登録がないため、公共事業を受託できないことから、県事協の名前で一括受託している。)
 - 県西支部にて今年度小田原市から業務を受託した。
 - 愛川支部では継続的に業務を受託している。
- ・ (番外) 座間支部: 市の実施している無料相談に相談員として座間支部会員が派遣され、謝礼金が支払われる。耐震診断・耐震改修業務が継続的にある。(今後は、建事協を通しての契約になることも想定されるので存続して欲しい)
 - ⇒ 谷田委員長にて意見を集約し、正副会長に上申する。
- ・ (今後の予定) 4月2日相談役参与会にて正副会長会意見集約、4月9日支部長会前に正副会長会実

- ・ 施予定、4月27日統括委員長会で方向性提示

(4) 「しごと展」実施報告について

- ・ 19日理事会にて、しごと展補助金の報告書類確認と支払予定についての報告を谷田委員長より行った旨、報告された。
- ・ 平塚支部のしごと展実施状況が新倉委員より報告された。
- ・ 平塚支部の提出書類を確認。内定額通り80,000円を支給することとする。
- ・ 大和綾瀬支部の提出書類を確認。事業縮小によって支出額が42,900円へ減額となっているため、20,000円の補助金を支給する事とする。
⇒2支部へは補助金確定通知書を送付するとともに、上記補助額を支払う。

(5) 今後の行事日程について

- ・ 6/4総会実施予定：50名定員にてロイヤルホール横浜出席、それ以上の人数はオンライン参加。
- ・ 建築士定期講習：第1期（5～6月）はDVD講習で実施。第4期（2～3月）については今後の状況次第で講師またはDVD講習での実施を検討する。
- ・ 地引網大会：8月21日（土）ほか、希望を提示する必要があるため、予備日を含め提示し、4月に入ったら予約予定。
- ・ スポーツ大会：10月～12月頃予定。時期的には問題ない可能性が高いが、実施予定会場がワクチン接種会場の予定があるとの話がある。（担当：県西ブロック）

(6) その他

○吉田委員より：会員の仕事内容について

- ・ 会員の仕事内容や興味範囲が不明。神事協の講習会の活用状況がどのようになっているか。支部の近況を把握し、支部活動に利用していけないか。（講習会実施内容の提案や、委員会参加への勧誘等にも利用を想定。）
- ・ 講習会等参加者名簿の書式を統一化し、Excel等でデータ集計しやすくする。
- ・ 目的：講習会受講状況の把握 会員の神事協活動参加傾向の把握
⇒4/9支部長会で吉田委員（相模原支部長）からの支部提案とし、谷田委員長がフォローする。

○次回以降の委員会日程

5月18日（火）10：00～12：00 Web会議

コロナ禍で実施できるイベントを検討する

○高澤副委員長挨拶